

第51回「白百合祭」図書館企画

仙台の昔を伝える
紙芝居作り・上演
実行委員会による

紙芝居

2016年10月23日(日)

第1回上演 10時45分～

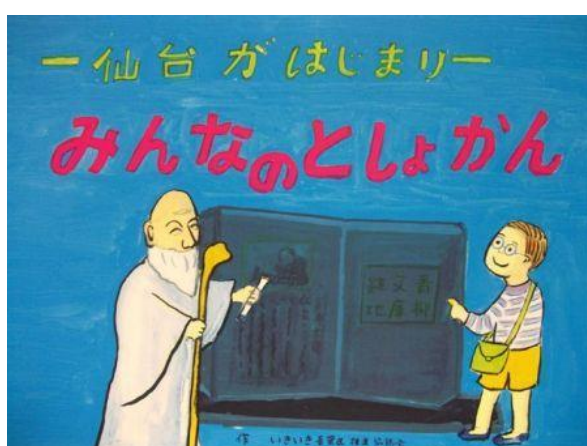
「やさしいふくの神仙台四郎・その他」



四郎さんは、明治のはじめのころに仙台で生まれ育ちました。このお話は、ことばをしゃべることはできないけれど、いつもニコニコ笑顔の四郎さんが友達のおちよちゃんところうくと3人で、ぷらりぷらり仙台の町を歩くとところからはじまります。全国にも知れ渡るようになった仙台四郎さんですが、さて、福の神と呼ばれるようになったのには、いったいどんな出来事があったのでしょうか？

第2回上演 13時20分～

「仙台がはじまりみんなのとしょかん・その他」



今から240年前の江戸時代、この時代には「本」はたいへん高価なものでした。なかなか庶民が読むことができなかつた「本」を無料で誰もが読むことができる図書館が仙台に生まれました。この日本初の公共図書館の生みの親、「青柳文蔵」の生涯を追っていきます！

※「仙台の昔を伝える紙芝居作り・上演実行委員会」

平成14年の仙台開府400年を契機に、仙台のひとや歴史・民話など、次世代に伝えていきたいことを題材に紙芝居を製作・上演している。